

6年生新聞投稿にチャレンジ②



親友とこれからも仲良くする

山城陽愛 小6

双子のような存在の親友。当たり前のようにそばにいます。そんな親友が学校を休ん

楽しい時間もあつという間に感じる。

大親友へ。

誰にでも優しい親友。保育園の頃から仲で、好みが一緒だ。例えば、一緒にお出かけに行ったら、かわいい物が



あるコーナーで、この中からかわいいと思う物を指をさそう！ということになった。二人で指したら、一緒に物を指していた。

他にも落ち込んでいるとき、親友が真剣に相談にのってくれる。悲しんでいるとき、すぐに私の変化に気づいてくれる。そして親友は、声をかけてくれる。親友といると、

(今帰仁村・兼次小)

だ時、知らぬ間にぼーっとし、さびしくて親友の存在を強く感じたことがあった。

親友は、私にとってのバロメーターだ。例えば、シンクロナした時や、自分の変化に気づいてくれた時、おそろいしたい時。シンクロナした時は「おーい、まねずんなんて」と笑

でも、たまにけんかもある。そんな時は、距離をおくこともあるけれど、早く仲直りしたい気持ちも一緒。親友がごめんねと言つと、私もごめんねと言つ。何もなかったかのよう、仲良くなつていく。

(今帰仁村・兼次小)



世界一のアイドルNiziU

仲宗根カレア 小6

私はNiziUのことが好きになったのは、3年生のときです。「Make you happy」が売れて、みんながおどっていたので知りました。

NiziUは、みんながとも家族のように仲がよく

世界一のアイドルです。会いたいです。(今帰仁村・兼次小)

て、みんな優しいし、みんな神対応なグループです。そしてNiziUは、公式グッズがとてもかわいいです。夏にライブがあると聞いているので、楽しみにしています。私にとってNiziUは、

ボールの音が味方になった

山下千晴 小6

ボールの音がひびく。今日は、調子がいいな、調子が悪いな。ボールを打つ感覚、ボールの音で今日の調子がわかるようになった。

小学校1年生から練習をやり始めた。最初の頃は、まとも

にボールを打てなかつたが、今では、打てるようになった。小学校5年生で、全国大会に出場した。ものすごく緊張

したが、いつもの通りのボールの音がひびいた。「よしがんばるぞー」と強く思った。

全国大会は、飛行機に乗り乗車気もちが、プレッシャーを感じたが、いつも耳にしているボールの音、ボールの感覚が私の味方になってくれた。

優勝できるようにがんばるぞー。(今帰仁村・兼次小)